

<統計トピックス>



「寅(とら)年生まれ」と「新成人」の人口

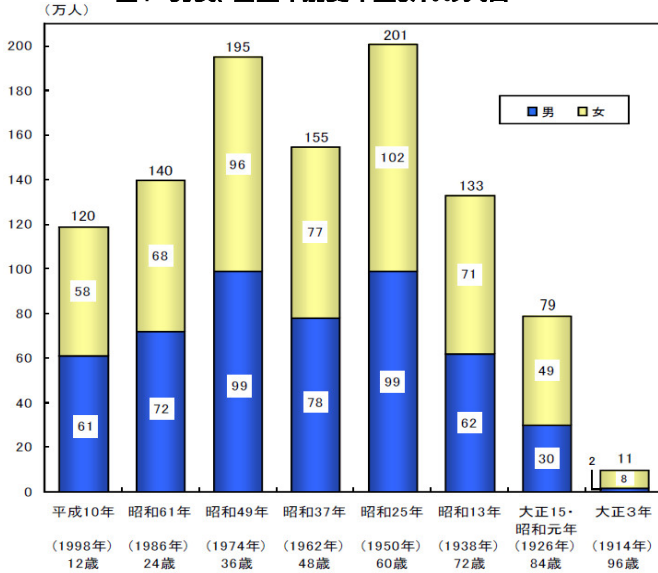


新年あけましておめでとうございます。今年は寅年です。また、平成生まれの人が初めて成人に達する年です。

新年にちなんで、今回は「寅年生まれ」と「新成人」の人口について推計しました。

「統計トピックス No.43」(総務省統計局)より

図1 男女、出生年別寅年生まれの人口



図中の年齢は、平成22年に誕生日を迎えた時の年齢
(注)昭和元年は1926年12月25日以降

寅年生まれの人口を出生年別にみると、第1次ベビーブーム(昭和22年~24年)の翌年、昭和25年生まれ(平成22年中に60歳になる人)が201万人で最も多くなっています。【図1】

総人口を十二支別にみると、丑年生まれが1,180万人で最も多く、寅年生まれは9番目となっています。【表1】

寅年生まれは1,034万人

平成22年1月1日現在における寅年生まれの人口は1,034万人で、総人口1億2,749万人に占める割合は8.1%となっています。男性は505万人、女性は530万人で、女性の方が男性より多くなっています。

表1 十二支別人口

十二支	人口(万人)	総人口に占める割合(%)	人口順位
総数	12749	100.0	-
子(ね)	1158	9.1	2
丑(うし)	1180	9.3	1
寅(とら)	1034	8.1	9
卯(う)	1018	8.0	10
辰(たつ)	1040	8.2	8
巳(み)	1046	8.2	5
午(うま)	992	7.8	12
未(ひつじ)	1049	8.2	4
申(さる)	1044	8.2	7
酉(とり)	1001	7.9	11
戌(いぬ)	1045	8.2	6
亥(い)	1142	9.0	3

平成22年生まれの寅年の人は含まない。

新成人は127万人

平成21年1月~12月に新たに成人に達した人口(平成22年1月1日現在20歳の人口)、いわゆる新成人人口は127万人となっています。男性は65万人、女性は62万人で男性の方が多くなっています。

新成人人口は「昭和64年・平成元年」生まれの人であり、127万人のうち、初めて成人に達した平成生まれは125万人となっています。

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人と最も多くなった後、減少に転じました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台となった後、平成7年に再び減少に転じ、それ以降は減少を続けています。平成22年は、前年から6万人減少し、新成人が最も多かった昭和45年と比べ約半数の127万人となり、初めて130万人を下回りました。減少を続ける新成人人口は、3年連続して過去最低を更新しています。【図2】

図2 新成人人口及び総人口に占める割合の推移(各年1月1日現在)

